

## 大規模氾濫を想定した危機管理演習を行います

### ～河川管理者と自治体との避難情報着目型タイムラインの検証・改善～

危機管理演習は、雄物川圏域大規模氾濫時の減災対策協議会における「雄物川の減災に係る取組方針」に基づき、大規模氾濫を想定し、ロールプレイング方式により行います。本演習は、今後の大規模氾濫時への備えとして、河川管理者と自治体が協力して作成した「避難指示等の発令に着目したタイムライン」の検証・改善および防災対応行動の確認・習熟を目的とするものです。今回は、湯沢市と湯沢河川国道事務所が合同で実施します。

#### ※雄物川圏域大規模氾濫時の減災対策協議会について

雄物川の大規模氾濫による被害軽減を図るため、市町村、県、国等が連携・協力して実施するハード・ソフト対策を「雄物川の減災に係る取組方針」として策定し、減災のための各種取り組みを行っているものです。

#### ※ロールプレイング方式について（詳しい内容は別紙資料を参照願います）

指揮部（コントローラー）と演習部（プレイヤー）に分かれ、シナリオを一切知らされていない演習部が指揮部から与えられる災害情報等を、収集・分析し、実際の災害時を想定して適切に状況判断を行い行動していく演習方式です。

#### <危機管理演習>

1. 実施日時：令和5年11月17日（金）9時00分～12時00分
2. 実施場所：湯沢市役所 4階 会議室41・43・44  
湯沢河川国道事務所 新庁舎 2階 災害対策室
3. 参加機関：湯沢市、湯沢河川国道事務所 合計 約100名
4. 演習想定：湯沢市域に係る雄物川、皆瀬川、高松川、役内川を対象

#### <検討会>

1. 日時：令和5年11月17日（金）14時30分～15時45分
2. 場所：湯沢市役所及び湯沢河川国道事務所の両演習会場においてTV会議にて実施
3. 内容：演習の評価結果・講評、意見交換など

#### ※注意事項

- 1) マスコミ関係者で取材を希望される場合は、11月15日（水）16時までに「別紙申込書」に記入のうえ、FAXにてご連絡頂きますようお願いいたします。
- 2) 当日の気象、水質事故、地震等の状況により延期となる場合があります。

#### ※発表記者會 秋田県政記者会、横手記者会、秋田建設関係専門紙、大仙市地方紙

##### <問い合わせ先>

(雄物川圏域大規模氾濫時の減災対策協議会事務局)  
国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所  
住所 湯沢市関口字上寺沢64-2  
電話 0183-73-5544 (流域治水課直通)  
副所長(河川) 阿部 健一(内線204)  
建設専門官(河川) 清水川 斉(内線403)  
湯沢市 総務部 総務課 総合防災室  
住所 湯沢市佐竹町1番1号  
電話 0183-55-8250 (総合防災室直通)  
総合防災室長 皆川 学  
防災監 藤井 達也

「大規模災害を想定した危機管理演習」  
取材(傍聴)申込書

送信先:湯沢河川国道事務所 流域治水課 あて FAX番号:0183-72-2164
--

ふりがな	
お名前	
ご所属(会社名)	
ご連絡先(TEL)	
取材先にチェック願います	<input type="checkbox"/> 湯沢河川国道事務所 ・ <input type="checkbox"/> 湯沢市
その他	

※送り状は不要ですので、本紙をそのままFAXしてください。

【連絡先】

湯沢河川国道事務所 流域治水課  
TEL 0183-73-5544

【当日の取材等について】

- ・当日演習開始前の取材は原則お受けできません。
- ・演習内の写真・テレビ撮影は、「演習開始10:00から終了12:00まで」といたします。
- ・演習中は、写真・テレビ撮影は可能としますが、演習者への取材等はお受けできません。
- ・演習終了後(13:00から20分程度)、記者ブリーフィングを演習室にて行います。
- ・上記の他、演習を円滑に進めるため、事務局の指示にご協力をお願いします。

# 令和5年度 雄物川危機管理演習

## 概要資料

令和5年11月

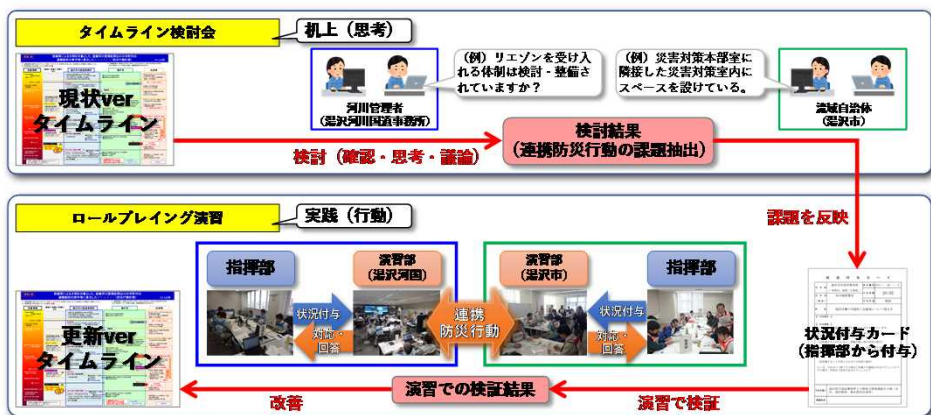
国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所

# 令和5年度 雄物川危機管理演習 概要①

## 1. 演習目的

本演習では「雄物川の減災に係る取組方針」に基づく取り組みの一環として策定された「前線に伴う洪水等を対象とした、直轄河川管理区間沿川の市町村の避難指示の発令等に着目したタイムライン（防災行動計画）（案）」に基づき、「タイムライン検討会」および「ロールプレイング型図上演習」を実施し、タイムラインの有効性を検証・改善するとともに災害初動期の対応行動の確認および習熟を目的としている。

災害対策本部（支部）の運営について実践的に訓練する「ロールプレイング型図上演習」を実施することを基本とする。ロールプレイング型図上演習に先立ち「タイムライン検討会」を実施して（※実施済み）、タイムラインの連携防災行動について確認・思考・議論し、課題を抽出しておくことで、個別防災行動だけでなく、連携防災行動の課題解決を意識した質の高いロールプレイング型図上演習の実施につなげる。



タイムライン検討会とロールプレイング型図上演習の流れ

## 2. 過去の演習実績

実施日	演習方式	参加主体 (河川管理者)	参加主体 (流域自治体)
平成29年11月2日	ロールプレイング型図上演習	湯沢河川国道事務所	横手市
平成30年11月1日	ロールプレイング型図上演習	湯沢河川国道事務所	湯沢市
令和元年11月20日	ロールプレイング型図上演習	湯沢河川国道事務所	大仙市
令和2年 ※感染症拡大のため延期	ロールプレイング型図上演習	秋田河川国道事務所	秋田市
令和3年11月26日	討論型図上演習	秋田河川国道事務所	秋田市
令和4年8月23日 令和4年11月8日	タイムライン検討会 ロールプレイング型図上演習	湯沢河川国道事務所	横手市

## 3. 演習参加機関

本年度、演習部として参加する主体機関は、河川管理者として「湯沢河川国道事務所」、流域自治体として「湯沢市」である。

指揮部	演習部
<ul style="list-style-type: none"> <li>湯沢河川国道事務所</li> <li>秋田県</li> <li>秋田地方気象台</li> <li>防災エキスパート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>湯沢市</li> <li>流域自治体</li> <li>東北電力</li> <li>湯沢河川国道事務所</li> <li>湯沢市</li> </ul>

## 4. 開催日・会場

- ◆開催日：令和5年11月17日（金）
- ◆会場：①湯沢河川国道事務所、②湯沢市役所
- ※演習は、①、②の2会場ですべて同時に実施
- ※演習直前説明および演習後の意見交換会は、ウェブ会議で実施

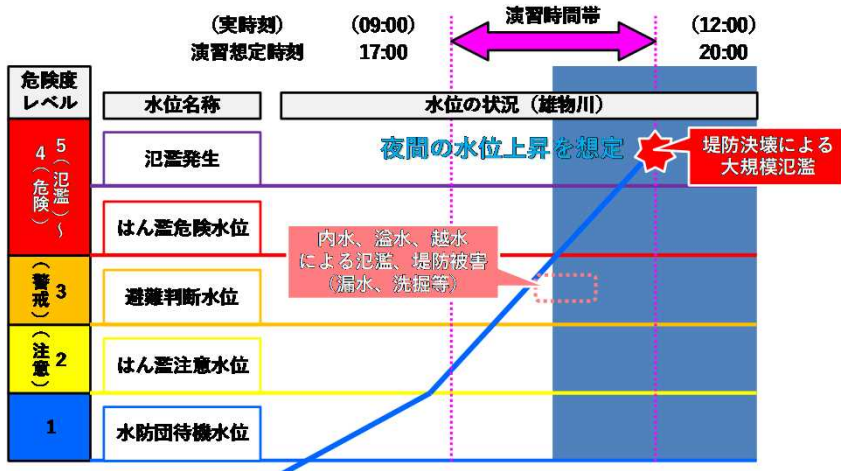
## 5. 演習スケジュール

時刻	次第
08:35 ~ 08:40 (5分)	開会・挨拶
08:40 ~ 09:00 (20分)	演習直前説明・初期情報の確認
09:00 ~ 12:00 (180分)	演習
12:00 ~ 14:30 (150分)	休憩・準備
14:30 ~ 15:45 (75分)	演習後の意見交換会・講評

# 令和5年度 雄物川危機管理演習 概要②

## 6. 演習場面

雄物川流域において、大規模な洪水が発生したと想定する。雄物川や皆瀬川等の水位が夜間に急激に上昇し、住民避難等の災害対処活動が切迫する時間帯を演習場面とする。



## 参考 ロールプレイング型図上演習とは

- 災害対策本部の運営について効果的に訓練するための図上演習の方式。
- 大規模災害を想定した状況（被害想定、シナリオ）をつくり、図上で災害を模擬体験する。
- 演習を受ける側（演習部）と運営する側（指揮部）に分かれる。指揮部はシナリオを知っているが、演習部はシナリオを知らされていない。
- 演習部は、指揮部の演じる役割（関係機関、住民など）からの情報を収集・整理・分析し、状況判断の上、なすべき行動を決断・指示して、実施後の報告を受けるという一連の動きについて訓練する。



ロールプレイング型図上演習の様子（左：演習部、右：指揮部）

## 7. 演習対象地域

- ・市町村域：主に湯沢市域
- ・河川：雄物川、皆瀬川、高松川、役内川

## 8. 主要演習項目

### ①収集した情報の迅速かつ的確な整理・共有・伝達

- ①-1 災害情報（気象、雨量、水位、現地状況等）の収集・整理
- ①-2 組織内での情報共有（本部・支所間含めて）
- ①-3 上部機関への報告
- ①-4 関係機関等の状況把握、関係機関への情報伝達【★連携】等

### ②的確な状況判断（夜間の急激な水位上昇に対する避難情報の発令等）

- ②-1 収集整理した情報に基づく今後の見通し分析
- ②-2 見通し分析に基づく状況判断・行動の指示
- ②-3 河川管理者から自治体へ避難に寄与する助言・情報提供【★連携】
- ②-4 現場要員への適切な情報提供・指示
- ②-5 災害対策用機械による減災対応【★連携】等

### ③住民に対する迅速かつ的確な避難支援・広報

- ③-1 迅速かつ的確な避難情報の発令
- ③-2 住民への避難に関する効果的な広報、情報提供
- ③-3 避難行動要支援者に対する迅速かつ適切な支援
- ③-4 孤立集落に対する迅速かつ適切な支援
- ③-5 住民・マスコミからの問合せ対応 等

### ④関係機関との緊密な連携

他の主要演習項目（①～③）に【★連携】と記載

## 9. タイムライン検討会での検討項目

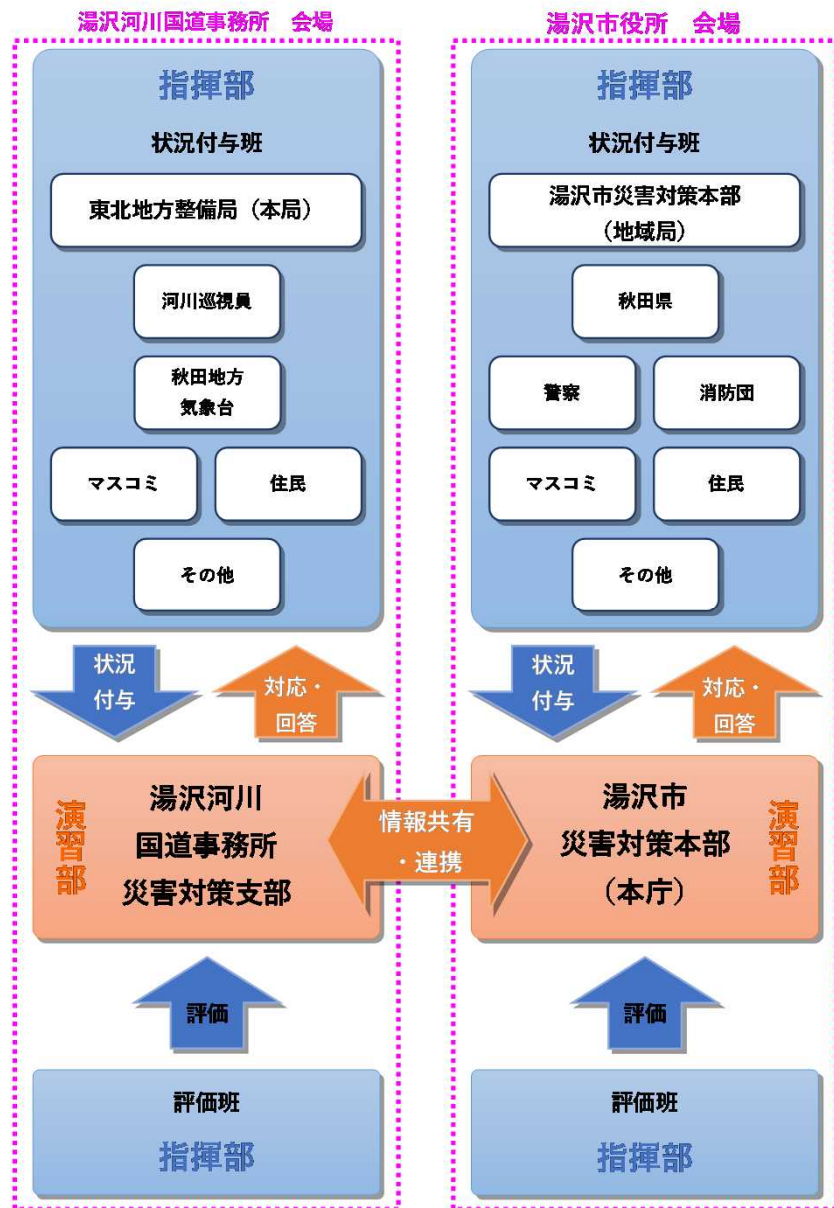
- ・実施日：2023年8月10日（実施済み）

検討事項	検討内容（概要）
①リエゾン派遣に関して	リエゾン派遣のタイミングの確認
②洪水予報に関して	洪水予報（氾濫する可能性のある水位）の確認
③ホットライン、水位の見込み、漏水・浸水情報の提供に関して	ホットラインで提供してほしい情報の確認
	ホットライン内容の機関内情報共有方法の確認 水位の見込み情報の活用班の確認
④災害対策用機械派遣に関して	排水ポンプ車の要請方法の確認 内水常襲地区の確認 排水ポンプ車の派遣に要する時間の確認



# 令和5年度 雄物川危機管理演習 概要③

## 10. 演習実施体制



## スケジュール

### ◆11月17日（金）：ロールプレイング型図上演習

時刻	次第	会場① (湯沢河国)	会場② (湯沢市)
08:35～08:40 (5分)	開会・挨拶 (2会場をウェブ会議接続)	◆代表者の挨拶 (湯沢河国)	
08:40～08:50 (10分)	演習直前説明 (2会場をウェブ会議接続)	◆委託業者の説明	
08:50～09:00 (10分)	初期情報の確認	-	-
09:00～12:00 (180分)	演習	-	-
12:00～14:30 (150分)	休憩・準備	◆会場準備	◆会場準備
14:30～15:45 (75分)	演習後の意見交換会・講評 (2会場をウェブ会議接続)	◆委託業者によるシナリオ概要説明 ◆代表者の意見・講評	

### ◆11月17日（金）：演習後の意見交換会・講評

時刻	次第	担当
14:30～14:55 (25分)	シナリオ概要説明および 演習部対応等の解説	◆事務局 ◆湯沢市
14:55～15:30 (35分)	代表者の意見・講評 (一人当たり3分程度)	◆湯沢河川国道事務所 (代表者4名程度) ◆湯沢市 (代表者4名程度) ◆指揮部 (代表者6名程度)
15:30～15:40 (10分)	意見交換・要望など	◆事務局
15:40～15:45 (5分)	閉会・挨拶	◆代表者の挨拶 (湯沢市)